

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	流山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
担当課	子ども家庭課

① 市民参加の方法の選択について

タウンミーティングを市内4か所で設定し、かつ、保育ボランティアをつけるなど、実際に条例に関わる人の意見を積極的にとりいれようとする意志が見えた。

《各委員からの意見》

・概ね妥当であると評価するが、パブリックコメントも選択すべきだったと史料する。市民生活に密接な子育て支援事業であり、審議会及びタウンミーティングの選択は至極妥当と評価するが、更に多くの市民の意見や要望を反映する意図で、パブリックコメントも選択すべきではなかったか。

・流山市子ども子育て会議の審議会は、有識者さらに、現在の子育ての現場をよく見ている方が多いと感じるため、審議会での意見は、とても重要であり、市民参加の手法の選択も妥当と考える。また、学童など直接子育てに関わる事項であるため、タウンミーティングを市内4か所で設定し、かつ、保育ボランティアをつけるなど、実際に条例に関わる人の意見を積極的にとりいれようとする意志が見えた。

・議会への議案提出スケジュールを考えるとタウンミーティングへの変更は仕方がなかったと思われるが、条例の全部改正なので、短期間でもすべての市民に参加可能なパブリックコメントの選択を行えた方が良かったのではないかと推察する。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

議会への議案の提出スケジュールを考えると、パブリックコメントからタウンミーティングに変更して市民の声を直接聞いたことは評価するが、周知から実施までのスケジュールは、参加者への配慮に欠けているのではないかと推察する。

《各委員からの意見》

・参加者の数を見れば、タイトなスケジュールであったと思われる。ただし、参加を希望しながら参加出来なかった子育てしながら働いている市民等に対するフォローを十分に行って欲しい。

・スケジュールにパブリックコメントを加えればさらに適切であったと史料する。タウンミーティングの後に審議会を開き、タウンミーティングでの市民意見を集約し、更にパブリックコメントを実施したら、市民参加手法の相乗結果が得られたのではないかと推察する。

・タウンミーティングを、土・日曜日に設定するなど、実際に学童などを利用する人が参加できるよう日程を設定したことは評価する。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

HP、広報紙以外にもポスターやチラシを活用しており、十分な周知を行ったのではないかと推察する。但し、ポスターをどこに貼り、チラシをどこに配るかという場所や提供先の選定には十分配慮する必要がある。

《各委員からの意見》

・タウンミーティングだけに絞らず、小学校PTA会、保育園PTA会等の開催情報を入手し、行政が手分けしてテーマに関する情報開示を行うべきではなかったか。

・審議会は子育てに関与している専門的な見識を有する代表者で編成し、情報や意見の偏りに配慮し、その他育児ボランティアの活用やスケジュール実施前にHPや広報紙、ポスター、チラシ等で周知徹底を図り、更に市のHPに事業の関連資料を掲載するなど積極的な情報提供は適切な措置と評価する。

・意見交換会のスケジュールがタイトであったと感じる。しかしながら、子ども子育て会議の傍聴に関しての積極的な宣伝なども見受けられたため、市民参加に対する課の意識がとても高いというイメージをもった。

④ 改善点について

《各委員からの意見》

・本事業のように対象者が限られている場合については、タウンミーティング以外にも出席できない関係者の意見を聴取する方法として、アンケートなども活用を検討されたい。

・市民参加を促すためにも、それぞれの概要・市が考える市民への影響等について、判り易い内容でアナウンスして意見交換会への市民参加を求めた方が良かったのではないかと推察する。

・選択手法の相乗効果を狙い複数選択手法のスケジュールの組み合わせや、実施のタイミング等々実施効果の上がる「傾向と対策」の在り方について、一段の創意工夫で改善を進めていく取り組み姿勢が必要と思われる。

・パブリックコメントができないからタウンミーティングということではなく、2つということにこだわらず、複数の方法を検討し、選択するということが念頭に置いて市民参加を検討されたい。

・意見交換会の参加人数が合計50人であり、1回の参加人数からすれば、これだけの子育てしながら働いている市民と保育園数を考えても少ないと感じる。できればタウンミーティングのみならず、パブリックコメントや開催日時を増やすなどして、子育てしながら働いている市民の意見を聞くべきではないかと推察する。

・関係施設の関係者の直接意見聴取を行う機会を作ると、実施に向けて内容の周知と協力が得やすのではないかと推察する。

⑤ 当該事業の評価について

A	B	C	D
---	---	---	---